

ピアホームだより

2021. 11.10

公開講座 リカバリートーク

白石先生の{家族と専門家の交流会}が縁で埼玉県立大学看護学科の横山教授と知りあい、森田准教授の紹介を頂き、当アドボケート会の副理事長に就任頂いた縁から、理事活動だけでなく、行事の参加や実習の場になるなど深い繋がりをつくる事が出来ました。

そんな流れの中で、今回、精神障害者家族のリカバリートークに参加することが出来ました。この会は、横山先生が約10年前から始められたそうです。たぶん、「交流会」の活動を、横山先生なりに発展し、埼玉の地域に根付かせようとされたのでしょう。

公開講座は、3つの家族会からの発表があり、その後、グループに分かれて討論会という形式でした。最初は、大学の実習先でもある社会福祉法人もくせい会の統合失調症家族会からの発表、次に摂食障害家族会ポコ・ア・ポコ、

最後に人格障害・発達障害 BPD 家族会(問題が難しく人数も少ないためリハビリ施設でも扱いきれていない? 全国横断組織)からの発表でした。

家族の生の声が聞けて胸を打たれると同時に大変参考になりました。その中で、拒食症という、私達の経験が少ない分野の大変貴重なお話を聞けたので、報告してみたいと思います。

摂食障害の事例

若い娘さんの事例でした。成長盛りの小学校5年生で低身長のため成長ホルモン療法をしていましたが、摂食障害の診断が下され児童精神科に通院することになったそうです。

生命の危険を抱え好きな運動も禁止され、反って症状が悪化するなどの悪循環、中1の時、体重が18kgまで落ち危機的になったそうです。困り果てていた時、ポコ・ア・ポコの家族会に出会い、そこで家族の思いを話し、回復者の話を聞き、娘さんと良い向かい合い方が出来るようになり、快方に向かっていました。その後、高校受験も勝ち取りました。持久走に出たいという目標を立て体重の増加の時期もありました。

今は、娘さんの時々症状に巻き込まれることなく、よく話を聞いて、もがきながらも歩んでいるそうです。

ピアホームⅡ移転拡張相談

10月28日、東京都福祉保健局障害者施策推進部生活支援課居住支援担当者との相談会に臨みました。1級建築士の千賀さんに同行して頂きました。

運営の詳細についてかなりの時間を割いて説明して来ましたが、都側の関心は、最近グループホームでの突然死が多いということでした。従って、利用者の安否確認はどうしているか? が一番の関心事でした。

当所での、これまでのトラブル体験などもお話し、我がホームは毎日訪問、毎日ミーティングを基本としていることを伝えました。

また、利用者が不穏な時は、関係者と連携し夜間は泊まり込みます。セコムを頼んでも対応は困難でしょう?

日中活動を重んじていること、地域で生きることは同じ仲間と生きて行くことだと考えていることなどを伝えてきました。

今月の予定

11月27日:理事会・症例検討会